

Indonesia Festival 2010 の報告です

在日インドネシア大使館は、代々木公園管理者の東京都に対して次のような使用承諾申請を出されました。C.P.I.は、同大使館との協働者として、インドネシアフェスティバルの主権を大使館に譲り、よりパワーアップした催事を目指しました。



Ambassador of the Republic of Indonesia
Tokyo

No.: 168/PEN/V/2010

Tokyo, 24 May 2010

The Honorable Shintaro ISHIHARA,
Governor of Tokyo,
Tokyo Metropolitan Government,
2-8-1, Nishishinjuku, Shinjuku-ku,
Tokyo 163-8001,
Japan

Dear Governor Ishihara,

It is with great pleasure that I have the honour to inform you that the Indonesian Embassy, in collaboration with The Committee for Promotion to Innovate Japanese People by Educational and Cultural Contact (C.P.I. Japan), will organize the Indonesia Festival 2010 in Yoyogi Park on 10-11 July 2010. The Festival will feature Indonesian culture, such as traditional song dance performances, as well as an exhibition on tourism and industry.

The Indonesia Festival in Yoyogi Park last year was organized by C.P.I. Japan, which also reserved Yoyogi Park for this year's Festival. Considering the abovementioned collaboration, it would be highly appreciated if you could kindly amend the reservation of Yoyogi Park on the said date to show the name of the Indonesian Embassy instead of C.P.I. Japan. Attached herewith is a confirmation letter from C.P.I. Japan.

I hope and trust that this Festival will be enjoyed by the Japanese community, and that it will also help to strengthen the cordial ties that exist between the Japanese and Indonesian peoples. I thank you for your kind support and consideration.

Sincerely Yours,

Prof. Dr. Jusuf Anwar

2010年7月の催事の成功のため副大使をチェアマンとした実行委員会ができ、NGO 5 団体、レストラン9店、雑貨9店、協賛企業5社の参加を得て、ほかに大使館と休息テントを張りました。フェスティバルの当日には、二日間で30,000人の来場者がありました。

Photos of Festival



STAGE



THE EVENT PLACE of YOYOGI-PARK



TEND OF C.P.I.JAPAN right: Secretariat



INDONESIAN TRADITIONAL DANCING



U-TOPIA from BANDUNG



C.P.I. appeal to promote charity activities



SONG OF Ms. AIU RATNA



C.P.I. President Director : Mr. K. Konishi

在日インドネシア大使館は、C.P.I.とともに NGO 活動（国際協力、環境、開発）による市民協力をより推進することを誓って下さいました。国別の催事では、特筆すべきことです。

(在日インドネシア大使館と C.P.I.との覚書のインドネシア語翻訳)

**Memorandum perihal Proses Pemindahtanganan
Hak Penggunaan Lapangan Kegiatan
di Yoyogi Park**

Dalam rangka proses pemindahtanganan hak penggunaan lapangan kegiatan di Yoyogi Park mulai tahun 2010, Kedutaan Besar Republik Indonesia Tokyo (selanjutnya disebut KBRI) dan Panitia Promosi Pertukaran Pendidikan dan Kebudayaan NPO Terdaftar C.P.I. (selanjutnya disebut C.P.I.) membuat memorandum berdasarkan hasil diskusi yang diadakan pada Januari 2010, sebagai berikut ini:

1. Mengingat adanya permintaan dari pihak KBRI, maka C.P.I. memutuskan untuk memindahtangankan hak penyelenggaraan acara kepada KBRI terkait kegiatan yang menurut rencana sebelumnya akan diadakan dengan nama "Festival Kerja Sama Antar-masyarakat Indonesia-Jepang ke-3" pada 10-11 Juli 2010.
2. KBRI akan menyelenggarakan acara serupa dengan mengganti nama menjadi "Festival Indonesia 2010" pada tanggal yang sama. Festival ini akan secara rutin diadakan setiap bulan Juli.
3. KBRI akan menyelenggarakan festival tersebut yang bertemakan "*Green Living Indonesia*" untuk tujuan promosi alam, kebudayaan, kesenian, dan perdagangan Indonesia.
4. KBRI menghargai upaya C.P.I. selama ini dalam peningkatan kerja sama antar-masyarakat Indonesia-Jepang, maka KBRI akan memfasilitasi C.P.I. untuk melakukan 5 kegiatan dalam Festival Indonesia, yang berupa pameran ataupun penggalangan dana sebagai berikut:
 - ① Kegiatan terkait perlindungan anak serta peningkatan kesempatan pendidikan bagi anak-anak
 - ② Kegiatan terkait upaya mendorong kemandirian pemuda
 - ③ Kegiatan terkait pemberian bantuan dan dukungan bagi kaum miskin perempuan
 - ④ Kegiatan terkait perlindungan dan pemeliharaan sumber daya kehutanan dan kelautan
 - ⑤ Kegiatan terkait peningkatan pertukaran kesenian tradisional antara Indonesia dan Jepang

Rabu, 6 Januari
2010

KBRI Tokyo


KONISHI Kikufumi
Ketua Panitia Promosi Pertukaran Pendidikan dan Kebudayaan
NPO C.P.I.181005
2-16-9 Nakahara, Mitaka-shi Tokyo

(在日インドネシア大使館と C.P.I.との覚書)

東京都代々木公園イベント広場使用权の移行に係る覚書

在日インドネシア大使館(以下、インドネシア大使館と称する)と認定 NPO 法人 C.P.I.教育文化交流推進委員会(以下、C.P.I.と称する)は、2010 年以降における東京都代々木公園イベント広場において催事を行う権利を移行するにあたり、2010 年1月の協議に基づき、次のように覚書を作成した。

1. C.P.I.は、2010 年 7 月 10-11 日に「第3回日本インドネシア市民協力フェスティバル」を開催する予定であったところ、インドネシア大使館の意向を汲み、開催主催を同大使館に譲る。
2. インドネシア大使館は、上記の日程で名称を「インドネシアフェスティバル 2010」と変更して催事を行い、以降、毎年7月に開催する予定である。
3. インドネシア大使館は同催事を、Green Living Indonesia(自然あふれる素晴らしい国インドネシア)を知らせる場として、自然・文化・芸能・産業を知らせる趣旨で行う。
4. インドネシア大使館は、これまで C.P.I. が代々木公園での催事で推進してきた「日本とインドネシアの市民協力を向上させる」趣旨を継続的に尊重して、C.P.I. が次の5項目に関わる展示および募金活動をインドネシアフェスティバル会場で円滑に推進できるよう便宜を図る。
 - ① 子どもの生命を守り教育の機会を増進する活動
 - ② 青年の自立を図る活動
 - ③ 貧困女性の向上を目指す活動
 - ④ 山林および海洋資源を守り育てる活動
 - ⑤ 日本とインドネシアの伝統文化の交流を進める活動

2010 年 1 月 6 日

在日インドネシア大使館

〒141-0022

東京都品川区東五反田五丁目2



Dwatmaji Hanomardesi
参事官 広報社会文化部

認定 NPO 法人

C.P.I.教育文化交流推進委員会

1810005 東京都三鷹市中原 2-16-9

会長 小西 菊文




ステージ出演者 Indonesia Festival 2010

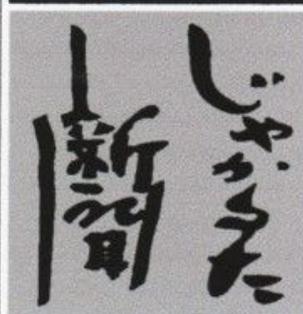
7/10 (Sat)

10:30/Rampak Gendang
10:50/Opening
11:05/Sisingaan & Saman Dance (I-Kreasindo Group)
11:35/Basundhari Group (Balinese Dance)
12:05/Bamboo Music & Permata Sakura<
12:35/Lagu - Lagu Kai
13:00/Traditional Dances (I-Kreasindo Group)
13:35/PPI
13:45/Indonesian of TOKYO-UNIV Students
14:20/CP Band
14:50/Lisa Halim
15:30/AiU Ratna
16:25/U-TOPIA
17:50/Bali Pusaka Group
18:10/Traditional Dances (I-Kreasindo Group)
18:45/Wayang/Shadow Puppets (kluthak-kluthek Group)

7/11 (Sun)

10:20/Sisingaan & Rampak Gendang (I-Kreasindo Group)
11:20/Dewandaru Dance Company
12:10/Hiroaki Kato
13:00/GinDora Band
13:45/Surya Candra Group
14:25/Jaipongan Dance & Batran Group
15:15/Sekar Jepun Group
15:55/Lambang Sari Gamelan
16:30/Duta Melati Group
17:00/Traditional Dances (I-Kreasindo Group)
18:05/U-TOPIA

次ページは、7月12日のジャカルタ新聞（インドネシア日本人向け新聞）朝刊の記事です。



Shonan Theatre 305
Jl. M.J.A. Thamrin Kav. 3
Jakarta 10240
Phone : 63-21-236-3638
総代理店 びすく社
©PT. BINA KONSULTING ASHIKAWA, BYSCH
License No. 00000000000000000000

Rp.12,000

信頼される安心を、社会へ。
SECOM

フリーダイヤル:0800-11-73266 中村・田中

為替・株価

休日のため取引なし。

10,000円=976,500^円

1ドル=8,730^円

(9日、三連東京UFJ銀行JTB)

10,000円=1,015,000^円

1ドル=9,060^円 (両替商調べ)

インドネシア証券取引所株価指数
休日のため取引なし。
(9日終値=2943.896)

みなみ十字・第41号

☆やさしいお母さんとお父さん

小学部3年3組(執筆時)

鬼 アンワル 氏

母のお母さんは歩く
おばあちゃんといつも
やさしいです。母が病
気になった時、お父さん
まさがしてくれてやさしいお母さん
です。

母のお父さんは、ときどきおこ
るけど、とてもやさしいです。

お父さんは、おべんとうを作って
くれたり、ショッピングモールに行
った時に、かならず一つはべん強に
なるものを買ってくれます。

お父さんはモールに行くのがきら
いで、お母さんに「行こうよ」って
言われても、「行かないよ、もう疲れた
」と言います。でもいっしょにき
てくれます。

お母さんもお父さんもいつもやさ
しいです。

フラッシュ・ニュース

■最後の執念実行

8日、「高齢の木が倒れる危険がある
ため、その木を切り落とし、代わり
に3本の若木を植える」とユドヨ
ノ大統領が宣言して始まった大統領
官邸での植樹式。3本の若い木を植

東京でインドネシア祭り

東京の代々木公園イベント広場で十、十一の両日、「インドネシア・フェスティバル2010」(共催・在日インドネシア大使館、フェスティバル実行委員会、後援・日本外務省、東京都)が開かれ、約三万人が足を運んだ。二〇〇八年に日本の国際交流NPO(非営利組織)が始めたフェスティバルが、今年から在日インドネシア大使館主催となり規模を拡大した。日伊の来場者はインドネシアの伝統芸能や料理を堪能し、今年初めて登場した企業ブースではビジネス分野での交流も行われるなど、両国の交流の場として広がりを見せている。

(東京)宮田優介 撮影・説明 写真も

「自然あふれる素晴らしい訪れ、商談を行った。インドネシア」をテーマに実行委員会委員長を務める大使館のロニー・ユリアンティン委員長(当時)は、インドネシア料理店、NGO(非政府組織)の魅力をプロモーションとNPO、企業が二十八のブースを出展した。インドネシア芸能の披露や料理店に加え、今年からインドネシア大使館の後押しで国営バンク・スガラ・インドネシア(BNI)、国営鉱業会社のアンタム(PT. ANTAM)、タナバン、社らも出展。インドネシア進出を志す企業関係者が多く

3万人が芸能料理を堪能



2日間のおおとりを務めたインドネシアの人気バンド「ユートピア」のライブでは、雨の中来場者が盛り上がった

「自然あふれる素晴らしい訪れ、商談を行った。インドネシア」をテーマに実行委員会委員長を務める大使館のロニー・ユリアンティン委員長(当時)は、インドネシア料理店、NGO(非政府組織)の魅力をプロモーションとNPO、企業が二十八のブースを出展した。インドネシア芸能の披露や料理店に加え、今年からインドネシア大使館の後押しで国営バンク・スガラ・インドネシア(BNI)、国営鉱業会社のアンタム(PT. ANTAM)、タナバン、社らも出展。インドネシア進出を志す企業関係者が多く

大使館主催でパワーアップ

「自然あふれる素晴らしい訪れ、商談を行った。インドネシア」をテーマに実行委員会委員長を務める大使館のロニー・ユリアンティン委員長(当時)は、インドネシア料理店、NGO(非政府組織)の魅力をプロモーションとNPO、企業が二十八のブースを出展した。インドネシア芸能の披露や料理店に加え、今年からインドネシア大使館の後押しで国営バンク・スガラ・インドネシア(BNI)、国営鉱業会社のアンタム(PT. ANTAM)、タナバン、社らも出展。インドネシア進出を志す企業関係者が多く

ルタでもこうしたフェスティバルを開催したい」と語った。NPO主催でスタートしたフェスティバルは二年前インドネシアで里親システムによる養育事業を展開するNPO「教育文化交流推進委員会」(CPI、小西菊文会長)の主導で日本インドネシア市民協力の集いとしてスタート。日本初のインドネシア・フェスティバルとして、インドネシア女性評議会(ROWANI)のリンダ・アマリア・サリ会長(当時)現女性問題・児童保護担当國務相を約く、両国の草の根交流の場となつた。

実行委に名を連ねるCPIの小西会長は「インドネシアの味や文化を愛しむと同時に、われわれNPOの活動にも興味を持ってもらえたら」と語る。将来は環境ネシア人が車を運転でナシゴレンやミーパッソをほお

日伊の人の出合いの場として発展させたいとい

は「日本人に本物の工芸品に触れてほしい。すべてインドネシアから取り寄せた。熱心に説明を聞いてくれる来場者と触れ合えて楽しかった」と語った。

来日二年目のインドネシア人実習生ラファチャルさん(二二)は「研習生・実習生の友人と来た。来年には仲間と離ればなれになるので、帰国前に良い思い出ができた」と語った。

友人二人連れで来ていたシャロン(歌手)の平野由美さん(五二)は「インドネシアの音楽に興味があり、何度も足を運んだが、日本で一度はこんなに多くのインドネシア人に会ったことほない」と驚いていた。